なぜFamily Assessment Response（家族評価対応）を受けているのですか？

- Department of Children, Youth, and Families（児童・青少年・家庭局、DCYF）は、お子さんの安全に関する懸念を含む報告を受けました。
- その報告は、Washington州法（RCW 26.44.020）における児童虐待・ネグレクトの法的定義に該当しました。
- ただし、その報告はお子さんが即時の危険にさらされているとは述べていません。
- DCYFは、お子さんの安全を守るために、あなたと協力したいと考えています。

ケースに関して懸念がある場合は誰に連絡すればよいですか？

ケースの扱いについて不満や懸念がある場合は、FARケースワーカーの上司に連絡してください。

それでも解決しない場合は、地域管理者に連絡できます。

いつでも1-800-723-4831のOffice of Constituent Relations（構成員対応窓口）に電話して支援を受けられます。

—または—

1-800-571-7321のOffice of the Family & Children's Ombuds（家族・児童オンブズマン事務所）に連絡できます。

*この機関は*DCYF*とは独立しており、*DCYF*に関する懸念を調査します。

この文書の別のフォーマットや言語でのコピーをご希望の場合は、*DCYF*の関係者対応窓口（*1-800-723-4831 | 360-902-8060, **ConstRelations@dcyf.wa.gov***）までご連絡ください。

DCYF PUBLICATION CWP_0023 | DSHS 22-1534 JA (07-2021) Japanese

家族評価対応（FAR）

*CPS*が家族を支援・強化するための対応経路

Washington State Department of
CHILDREN, YOUTH & FAMILIES

Family Assessment Response（家族評価対応）とは何ですか？

FARは、Washington State Child Protective Services（Washington州児童保護サービス、CPS）が一部の児童虐待・ネグレクト報告に対応する新しい方法です。FARが導入される前、CPSは児童虐待やネグレクトの報告に対して調査をしていました。

FARは家族と協力して以下を行います：

- 危機の際に、親を児童虐待やネグレクトの責任者とせずに支援する。
- 地域社会とのつながりを強める。

調査員とFARケースワーカーは共に以下を行います：

- 家族と協力して、子どもの安全を守る。
- 家族のニーズを把握する。
- 親や地域の強み・資源を活かす。
- 子どものニーズに集中できなくなるようなストレス状況を緩和するサービスを見つける。

調査に関して：

- 虐待やネグレクトが発生したかどうかを判断する。
- 虐待やネグレクトがあったとされる場合、誰が責任者なのかを特定する。また、児童虐待やネグレクトが実際に発生したかどうかについて判断を下す。結果はDCYFの記録に残り、将来の子どもや脆弱な成人に関わる職務に影響する可能性があります。

Family Assessment Response（家族評価対応）はどのように進められますか？

DCYFが家族に関する報告を受けると、FARケースワーカーが面談し、お子さんの安全について話し合います。

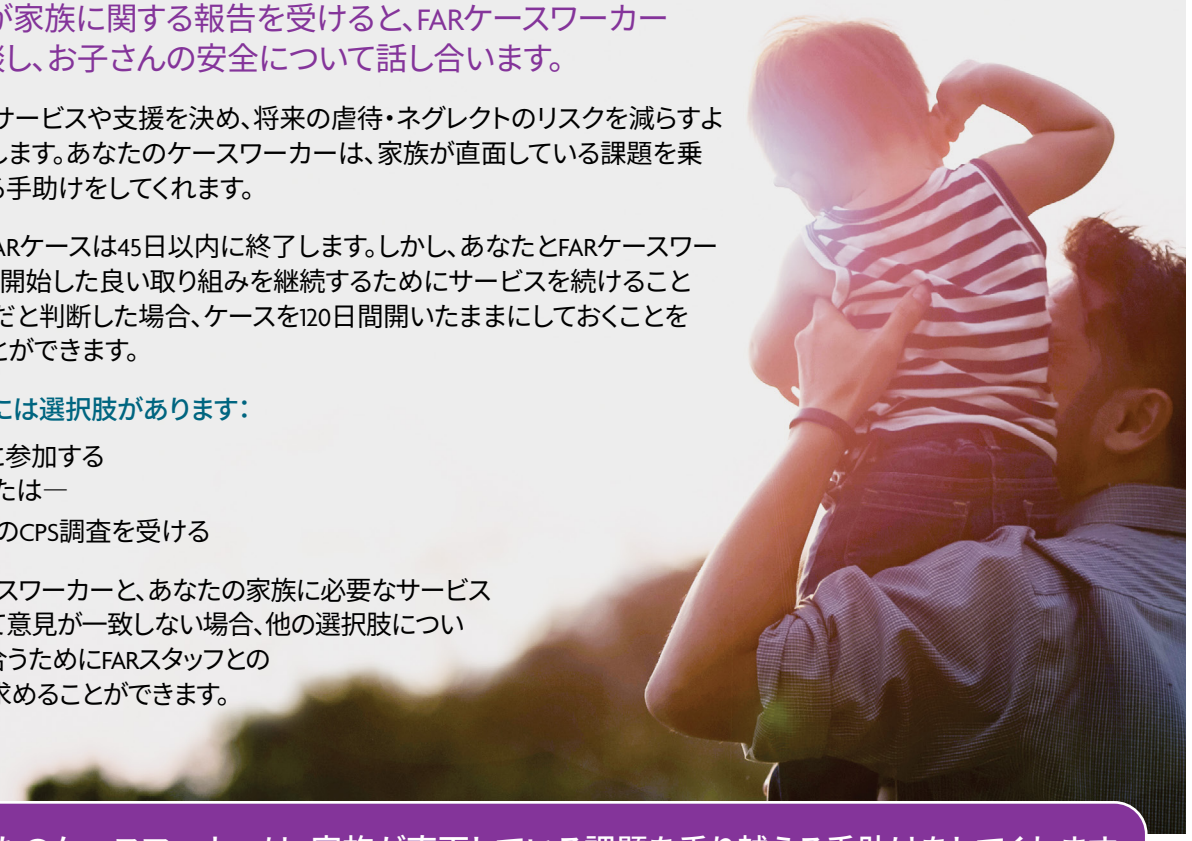
必要なサービスや支援を決め、将来の虐待・ネグレクトのリスクを減らすよう協力します。あなたのケースワーカーは、家族が直面している課題を乗り越える手助けをしてくれます。

多くのFARケースは45日以内に終了します。しかし、あなたとFARケースワーカーが、開始した良い取り組みを継続するためにサービスを続けることが有益だと判断した場合、ケースを120日間開いたままにしておくことを選ぶことができます。

あなたには選択肢があります：

- FARに参加する
  —または—
- 従来のCPS調査を受ける

FARケースワーカーと、あなたの家族に必要なサービスについて意見が一致しない場合、他の選択肢について話し合うためにFARスタッフとの会議を求めることができます。



あなたのケースワーカーは、家族が直面している課題を乗り越える手助けをしてくれます。

家族評価対応はどのように役立ちますか？

あなた自身が家族のニーズを最も理解しています。FARケースワーカーは以下を支援します：

- 家庭での子どもの安全を高める方法を特定する。
- 家族の基本的ニーズを満たす。
- 子どもの成長段階に応じた養育スキルを高める。
- 地域社会とのつながりを強化する。
- 住居、仕事、その他あなたやご家族にストレスを与えている継続的な課題に対応するために、地域の資源やメンターを見つける。

一緒に取り組むことで、あなたの自信とスキルを育み、子どもの安全を守る力を高めましょう。